

新編水滸畫傳

九編

八

875
88



明選
冊 875
卷 881

新編小治政傳卷之八十八

東武

高井蘭山公翁

譯編

明治三十年
一月十日

○第百四十一回 清溪洞城取

備も敵上懸時近ハ城の頂小あり。東の方と居ふ火の光天と集一
て白雲のごとく。是も盧俊義朱武大軍と似く火と殺り山林と燒
と完ハ軍上にお攻上る。是も炎軍上より小養中飛刃春來兵の火と敵
林と焚燒と死くと受て云け彼ら共とをむらの法なり。我らハ只
くけ冥とあふ一とそ自ら雷烟針稷とす小警弓と並べおねと故
の初靜とらん合居ら。西よ是も前門小狼と汚後つ小虎と進のれなり。
時近ハ小く冥上よ思ひ入大樹の頂小上り枝葉の茂りくる怨ふ
場一関前とらん小腕万春雷烟針稷と修小法つと修めり

下入宋兵とや攻め林冲は延物馬と扱へ大罵りて云城に入る
 と天多小敵するや麻万春大お怒り己お怒りと敵んたけ時敵上
 越いふく樹の上より飛りり突の後ろふ多ふ多々のは事敵後
 無く火之流火端硝と揮りけ火と越て是お情自く登舟の上
 り火炮と殺つふを音山河お雷をかのは宋兵の火一奔お起り天と
 焦れらるふ火と巻く煙上まは南軍の人々大お驚れ敵は
 大おれり麻万春は是とんく急ぎ雷烟計獲と屋後お母て火
 と救んせし時又火炮と殺くそ音天地と崩れらるるあま
 へ南兵驚れ各陰刀と扱し我之ふと近走るは時時近は音敵は
 宋兵一ふと中突とおぬらう汝お子く惜糸口一死と免るべしと叫
 びらる麻万春と拵としく雷烟計獲も大お驚れお怒り怒り麻

本とてあて半時たう知くとあらばは惟お林冲は延物馬
 先小関と打破り殺く小南軍と切殺れは各縁立は雷烟と生
 投り魏定玉の計獲と生投おせしは只麻万春のみはさへ
 逃免らんは音知ず敵おたりさん宋兵己小仇入屋後我多ち皇
 貴宮とわく大お時近の功と考く先雷烟計獲と引おるは後
 と割汗と知く史をとりめくそ考て殺さるは六物を奪り次の
 日文書とぬく皇貴宮をぬく部と詰討お告自く大軍と引かじ
 歙州の城下へ攻める拵は時敵とある大お皇叔大王官屋とや
 く方備の叔父なり又二人の副おあり尚書王官侍郎を玉と云又
 十餘人の猛將二万余騎の言とぬくは割別城と結馬せり尚書
 王官の率當地の石道をぬくは結陰と使ひ又一匹の名馬お結と

知の残務はと云とて、以馬と精の飛と意舟て山より水に
 降ぐ平地とけぞとてや又清和も玉の南地の故家のみありて
 能敷と使ひ、意く係畧あり、は小依く方彌彼二人小直職を授け
 多後と司とじむ、後小勝万妻の料はも、皇女と宗兵小集几
 遠く一方と逃まぬ、敵別の約も小知り、皇叔方盛小んとて、その
 子細を授けられ、方盛は、大お怒り、云は、皇女と皇女は、知れん
 要害の地あり、小宗兵小集、は彼ら攻めん時、いんばて、遠く、王
 宮を、こお奏して、云、王と、皇女と、雷霆の怒と息入り、古より、云、猶有、い、云
 家の事なり、我の飛あり、は、今、王と、皇女と、一勝万軍の飛と、い、
 先、お軍と、え、ま、く、敵と、切、逃、け、し、め、意、存、し、び、負、あ、い、し、時、し、と、飛、を
 罪し、の、く、方、盛、が、云、を、可、ん、と、て、刑、入、り、の、共、と、一、勝、万、春、小、と、く、ま、の、え

小敵と連へむ、時、後、彼、我、が、大、軍、已、小、城、下、小、押、寄、の、全、と、呼、ぶ、く、
 戦と挑む、は、時、一、勝、万、妻、馬、と、逃、を、陣、あ、小、れ、お、ま、は、宗、の、軍、中、
 一、勝、万、馬、と、躍、を、陰、と、機、を、お、連、入、あ、ね、我、の、軍、と、十、合、あ、も、お、ら
 ざ、る、小、一、勝、万、妻、仰、り、有、く、近、く、を、敵、勝、一、番、の、功、と、取、ら、ん、と、馬、と
 飛、く、追、う、け、ら、る、小、一、勝、万、妻、へ、お、ま、は、小、一、勝、万、妻、と、相、向、く、一、和、と、敵
 つ、小、敵、勝、遠、く、は、弟、と、い、ふ、お、い、し、一、勝、万、妻、が、射、し、の、管、矢、あ、れ
 ば、弟、の、矢、小、狗、の、と、射、し、馬、を、射、し、死、お、ら、る、城、上、より、王、宮
 遠、小、一、勝、万、妻、が、猪、と、け、と、い、ふ、大、お、敵、と、あ、し、軍、を、と、を、あ、し、ら、る、
 宗、軍、大、お、敵、わ、く、二十、里、な、る、退、て、陣、知、く、云、馬、と、跳、捨、す、る、小、又
 乱、軍、の、内、小、集、園、子、張、ま、も、何、者、お、殺、ら、れ、ん、が、孫、二、娘、の、丈、丈、の
 死、む、と、い、ふ、大、お、怒、り、と、死、と、受、く、後、山、小、集、も、い、ら、ん、が、後、彼、我、の



皇叔方座
麗万春の數度
故績と怒の
斬るる人

の樹小數十丈の羊と縛り付。蹄小鼓の擡と控く。鼓と打りぬ
 りれば。音もれまて。吹へり。情小多。鼓方妻の計小中り。り
 と知り。大少驚。然る。士率小下。知して。引返さんと。せ。知小殊。中
 り。忽ち。火起り。又山と。火炮の音。響く。は。方。の。伏。撃。一。度。小。喊
 次。作。り。り。れ。れ。を。声。山。野。小。荒。く。逃。る。べ。さ。や。ぞ。こ。ご。り。り。り。時
 高。野。野。方。妻。の。あ。ね。の。士。率。小。令。じ。く。引。返。ん。と。知。小。軍。の。率。妻
 湖。の。湧。が。ど。く。小。破。蕪。り。り。れ。が。あ。ね。の。勇。と。奮。う。く。一。方。と。切。ひ。元。
 己。小。逃。ま。ん。と。せ。知。小。後。り。呼。延。物。大。小。喝。し。て。云。破。物。逃。る。く
 と。な。ん。れ。あ。く。馬。より。あ。く。物。来。し。一。死。と。知。る。と。し。と。呼。り。け。ま。を。
 高。野。の。程。も。慌。て。鞞。小。ふ。な。く。馬。と。馳。く。逃。ま。ん。と。せ。小。早。く。し
 呼。延。物。小。逃。付。と。あ。の。子。小。奴。殺。と。揚。ぐ。胆。袋。と。お。碎。れ。微。塵

小成。く。ぞ。死。し。小。る。一。死。方。妻。是。と。り。ん。く。大。小。驚。く。こ。は。顔。を。り。り
 又。料。小。湯。湯。縁。く。縁。の。傍。り。小。溜。ん。と。在。る。と。物。陰。沖。り。つ。て。馬
 の。前。置。と。抱。掛。く。遂。小。湯。陰。小。生。捨。れ。り。り。守。軍。勢。小。令。じ
 破。傷。り。り。れ。南。軍。准。久。抵。敵。を。散。く。小。級。を。死。せ。し。後。小。廣。後。戦
 一。戦。小。少。掃。く。幸。陳。回。り。ま。る。親。方。の。軍。兵。と。恐。捨。す。る。小。丁。得
 孫。也。夜。山。野。の。原。の中。あ。て。毒。蛇。小。咬。む。毒。氣。後。申。小。く。死。す。り
 と。若。く。れ。ば。廣。後。戦。士。率。小。令。じ。存。く。是。と。誓。り。し。也。且。一。死。方。妻。を
 引。出。し。後。と。割。く。汗。と。刻。知。く。亡。物。敵。膽。史。進。の。音。と。知。り。首。と
 切。く。拵。拍。付。の。軍。中。小。送。り。り。り。と。ん。が。お。日。廣。後。戦。の。決。れ。と。り
 く。勢。小。急。あ。く。割。州。の。城。申。小。攻。奇。々。小。城。つ。突。く。城。上。を。受
 ひ。小。一。人。の。軍。兵。も。な。く。一。中。の。旗。も。あ。ら。ず。軍。延。陸。魏。定。小。を。お。

功と立んとてまゝに城の中へ攻入られ、唐俊義も、ついでに推考あり、ふ
 名に儀、早延陸、魏定玉、を城の中へ推考、ついでに、ついでに、ついでに、
 抗中、小淵、入り、系、系、城、中、王、寅、二、人、の、牧、方、と、失、入、て、作、城、を
 棄、く、逃、れ、と、い、せ、縁、と、敷、ヶ、前、の、指、元、と、極、意、を、し、時、早、延、陸、
 魏、定、玉、の、あ、わ、れ、料、も、抗、中、小、淵、入、り、に、方、の、伏、勢、一、度、
 起、り、抗、中、小、淵、軍、の、中、小、教、を、れ、り、博、び、む。雪、水、神、火、の、あ、わ、
 も、南、柯、の、爰、と、な、り、り、唐、俊、義、ハ、又、二、羽、と、失、く、と、い、て、大、小、怒、
 り、急、ふ、前、軍、の、士、率、小、合、し、右、大、塊、と、い、く、投、入、く、遂、に、抗、中、
 と、堀、ま、り、湖、の、傍、に、推、考、あ、り、れ、南、云、却、く、と、い、つ、お、い、ら、し、
 敷、く、小、教、を、れ、時、唐、俊、義、を、ま、し、ふ、馬、と、遊、せ、城、中、入、り、る、よ、
 の、叔、方、屋、小、出、遇、れ、れ、唐、俊、義、怒、り、の、服、と、穿、と、平、生、の、秘、術、

と使ひ只一刀小方屋と、まゝに、ついでに、ついでに、ついでに、
 城の西門より右逃り、れ、れ、宋、云、追、り、逃、り、多、く、南、云、と、生、
 投、り、を、れ、小、王、寅、宋、云、小、創、州、城、と、攻、破、ら、れ、馬、と、遊、せ、と、逃、ま、
 り、忽、小、事、雲、小、出、遇、れ、れ、宋、云、と、抗、へ、戦、ひ、が、事、雲、を、え、ま、し、
 はん、バ、遂、に、敵、を、と、往、に、逃、ん、と、い、知、小、王、寅、と、や、も、陰、を、知、
 遂、に、事、雲、と、突、伏、り、石、勇、侍、り、を、と、い、大、小、怒、り、刀、を、牽、り、
 抗、り、れ、れ、王、寅、陰、と、抗、へ、突、蒐、り、あ、わ、れ、幾、全、を、七、合、石、勇、
 悉、く、敵、す、と、い、べ、刀、は、必、ず、小、知、ま、れ、れ、王、寅、も、彼、を、知、り、
 石、勇、と、突、敵、に、宋、云、を、と、り、れ、縁、を、差、け、鄒、淵、鄒、淵、の、石、
 勇、と、牽、り、切、止、め、り、王、寅、の、南、軍、中、の、勇、將、あ、れ、れ、と、逃、り、
 ち、る、と、い、火、花、を、散、り、戦、ひ、を、知、れ、抗、中、陰、を、知、り、持、後、り

ぐく。時催一人人初者なげま。遂不城首と生授ふするを能
 び。人。時。系。ふ。ゆ。く。ゆ。く。ゆ。く。天子の面。ふ。引。後。う。か
 ら。穴。お。夜。い。ゆ。お。合。す。針。と。用。く。方。備。と。捨。め。す。や。向。ふ。案
 を。懸。き。と。ま。し。り。れ。す。ゆ。ま。を。消。息。と。使。ひ。今。又。引。ふ。人。と。ま。し。作
 り。傳。し。め。ん。ふ。ま。ぶ。び。ゆ。人。と。ま。し。て。可。な。う。ん。や。兵。用。ぐ。云。案。が。あ
 る。ふ。因。よ。水。軍。改。領。事。俊。忠。と。ま。し。船。中。ふ。多。く。を。稱。美。と。接。ま
 し。め。是。と。献。ふ。く。作。り。傳。し。め。け。針。必。成。せ。方。備。の。や。山。崎。の
 小。人。の。い。は。ま。の。稱。美。と。献。ぶ。と。使。は。必。ず。疑。い。ず。味。方。ふ。か。人
 づ。軍。に。ぐ。云。軍。作。の。ま。ん。ま。ら。め。く。明。く。と。を。夜。兼。宗。と。名。く
 妻。し。く。後。宗。一。水。軍。の。改。領。事。俊。忠。と。ま。し。傳。へ。し。む。さ。は。兼。宗。の。事
 俊。忠。の。妻。し。く。針。と。捨。け。り。れ。ば。兼。宗。の。傳。へ。し。む。り。と。使。ふ。は。後。宗。の。事
 俊。忠。の。妻。し。く。針。と。捨。け。り。れ。ば。兼。宗。の。傳。へ。し。む。り。と。使。ふ。は。後。宗。の。事

と。船。の。形。お。出。立。せ。量。威。量。極。と。水。牛。と。な。し。六。十。艘。の。船。お。多。の。軍。兵
 積。め。け。大。後。う。り。極。ゆ。く。己。お。法。渡。お。邊。舟。人。と。す。る。お。忽。ち。南。軍。の。旗
 船。中。より。極。あり。あ。の。ど。く。夫。と。致。て。兼。宗。船。踏。お。知。く。大。お。叫。ん
 ぶ。云。我。の。是。稱。美。と。南。軍。お。献。ぶ。と。投。あ。す。る。の。人。を。方。を。稱。美。と。懸
 下。お。加。へ。り。か。ゆ。の。音。う。も。お。さ。ん。と。ま。し。ゆ。ゆ。お。呼。ぶ。云。船。上。の。軍。兵。遂
 兼。宗。俊。忠。の。船。と。す。る。お。何。も。軍。兵。も。あ。ら。ず。解。あ。れ。ば。引。制。し。て。夫。と。ま
 め。人。と。ま。し。妻。細。と。同。り。ゆ。船。中。の。稱。美。と。懸。ん。兼。宗。中。お。報。い
 て。云。兼。宗。兼。宗。俊。忠。の。旗。と。献。ぶ。と。投。あ。す。る。け。時。兼。宗。中。馬。し。く。同。く
 兼。宗。俊。忠。と。帳。下。お。知。く。同。く。云。汝。の。是。兼。宗。の。聲。下。お。ま。し。ゆ。ゆ。何。の。旗。と
 兼。宗。今。又。何。の。者。お。我。お。傳。来。と。す。や。兼。宗。お。し。年。く。兼。宗。と。云。兼。宗。姓
 兼。宗。名。の。後。ゆ。と。海。陽。江。上。の。者。なる。が。始。め。は。別。の。法。場。と。懸。く



徳



李俊が
御船
敵と
あざむ

新編水滸畫傳卷之八

是我汝と追ひ再び我と戦んと心あわぶ出来ずしとい時花
兼平軍降よゆつて宋に唐復義小吉呂用儀ふまへく。再び
宋降と知て辨りあらしめし時皇降馬と遊せし我の徳月刀と
舞し大ふ驚く云。山東の賊我大刀と感じてとらふをばおて
暮まぶおれし又陰と探へてお追へまね戦ふと六合あり乃る
皇降も又偽皇と故水にけ時おれし我も大ふ驚て云。再び猛
狗あぶおれまてと宋に又宋と知て辨りあらしめし時

○魚島深淵江あ歴化を

美舟公宋金戦と掲げおれしと戦ふ七八合又偽負て追りれ
がわ引馬と再び追りし陰と探へてと一突刺宋金馬と宋
兵中降ふ追入まてと南軍と一匹のたるとれけ時おれし南軍一

振と物ひおれし切來まて宋に偽り負て退くと十余里うしと
漸と退りしも又退入とみ里がうしと兵と收め河申お引退く
け時南軍中の人柯引が英雄なるを宋に猛りうらむと戦う
皆退退し後と宋にと忠怖しと教軍と追走り懸るまことなり
うらうら。方猶お告るる大ふ驚びし人英にしく官軍とひまをわしと
自ら後退し不徳全杯と皆け初てと料くごりれ辨るるは是文武忠
信の人あると。朕りもまかしのどれ武氣成練の英雄なりと知
らぬまくの別船と主人まら。今より力と満し。朕が為ふ基業成
後其。寡人といはく。方宋の官軍と寡人とを先杯とあへんが
柯引儀が以裁し又奏しと云。うら上必は案帳しうらく。臣力成
るし再び自作と起えん。明りま上自ら山よふよとく臣が宋に



小旋風栄進

親方
方職王
敗

新編水信畫傳卷之八十七

十七

石川已お友人とてを死せしが名山大寺を住持とて長く定風
と輝きとて魯智深首を揮き云て死せしが只け候とて死せんと
死のまといけ時定候とて魯智深お出せと勤まども死せぬ
ぞれお自ら死びず之方漏を隙車お執事系お討候とて次の日二
軍お下知とて流石を連て華源門をお出候も小回りの魯智
深が年の次候お通とて死せぬ

け巻お説経の字の旧く支那人の名お丹ひ。字の我が世の傑の
傑の字と因りたること

新編水滸伝巻之八十八

